

中期五ヶ年経営計画のための事業評価シート

資料 9-6

【一般社団法人ばんえい競馬馬主協会】

<計画年度:平成29年度～平成33年度>

事業名	出走申込等事業	定款条項	第4条第1項第5号事業【ばんえい競馬の出走申込み及び報償金の支払業務に関する事】	評価年月	平成29年1月
-----	---------	------	--	------	---------

事業運営方針	○会員に代わり、ばんえい競馬の出走申込料等の支払い及び各種申請の支援をする。 ○当協会が帯広市より一括受領するばんえい競馬の馬主報償金から、診療費、装蹄料金を控除し、残額は各会員の口座へ振り込みする。				
本計画の目標	1 馬主に関する各種申請等事務処理を円滑にするためのサポート充実	3	主権者との連携による馬主データベースの電子化		
	2 報償金等の振込等に関する事務の効率化、迅速化				
具体的な取組み	1 出走申込、各種申請等支援事業 会員に代わり、ばんえい競馬の出走申込料等の支払い及び各種申請の支援を行う	2	賞金等振込事業 当協会が帯広市より一括受領する馬主報償金から、診療費、装蹄料金を控除し支払う。また、各会員の指定口座に振り込みする。【開催毎年26回振込】		

◎過去五ヶ年の事業費の推移(正味財産ベース) (単位:千円)

区分	年度	平成24年度 (実績)	平成25年度 (実績)	平成26年度 (実績)	平成27年度 (実績)	平成28年度 (予算)
経常収益		37,730	35,656	37,479	36,460	36,335
内 訳	事業収益	6,735	6,377	5,893	4,626	4,980
	受取補助金等	995	995	995	995	995
	受取負担金	30,000	28,255	30,571	30,819	30,360
	雑収益	0	29	20	20	0
経常費用		24,988	27,351	23,511	16,182	22,482
内 訳	共済事業費	7,820	9,459	6,416	3,616	7,800
	出走申込等事業費	2,913	2,739	2,293	1,195	1,300
	連絡調整事業費	1,551	1,154	1,494	1,387	2,310
	防疫衛生事業費	3,881	3,675	3,183	3,242	3,290
事業管理費	8,823	10,324	10,125	6,742	7,782	
経常外費用		0	0	0	0	0
他会計振替額		△ 12,742	△ 8,305	△ 13,968	△ 20,278	△ 13,853

◎本事業の現状と課題等

【現状】 ①事務の効率化はこれまでも進めてきているが、紙ベースによる処理能力には限界がある。	【課題】 ①馬主報償金業務の更なる効率化、迅速化を目指し、既製の市販ソフトによるデータベースの電子化や、場合によっては独自ソフトの開発を検討するが、いずれもコスト面で大きな課題がある。
---	---

◎本事業の今後の方向性等(見直し改善案等)

【方向性】 ①ばんえい競馬の出走申込料については、当協会が会員に代わって年度末に纏めて一括帯広市へ納付する。 【帯広市の納付書による】 ②馬主登録、馬登録に関する各種申請書類の記載方法や申請書類等の事務処理に関する支援を行う。 ③現在、報償金振込等に関する事務処理については、紙ベースにより手作業で行っているが、新たにデータベースの電子化や独自システム構築により、事務処理プロセスの自動化、効率化、迅速化を図り会員サービスの向上に努める。	【見直し改善案】 ①事務処理の効率化、迅速化を図るため、計画的に電子化を推進する。
---	--

◎評価基準

A 現行の事業規模・同内容で継続する	必要性	◎
B 現行の事業規模を拡大し、同内容で継続する	妥当性	◎
C 現行の事業規模を拡大し、内容を見直して継続する	有効性	◎
D 現行の事業規模を縮小し、同内容で継続する	効率性	△
E 現行の事業規模を縮小し、内容を見直して継続する	公平性	○
F 現行の事業内容を見直して継続する	予算規模	○
G この事業は目的を達成したので廃止又は休止する	執行体制	△

【総合評価・意見等】

当該事業はいずれも不可欠であり、継続していかなければならない。よって事業内容自体を大幅に変更する点はないが、より一層事務の効率化を図るため、事務処理の電子化を目指し、今後、予算措置も含め市販ソフト導入の可否について検討していく。

判定
F